

## 事業計画書

事業名	「人と時を紡ぐ」事業
実施場所	沼津市内
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 令和5年 8月 1日 ~ 令和6年 3月 31日

## ◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

ひととき百貨店では、【出会えてよかったを紡いで暮らしによるこびを まちにわくわくを】をミッションに掲げ、「人と人」、「人と時」を紡ぐ事業を昨年度に引き続き展開する。

昨年度の事業を通して、地域の宝となりうるようなコンテンツを持つ人と、地域の宝を求める人を引き合わせる場を創り出すことができた。また、事業を展開するごとに地域の宝に価値を感じてくれるファン層の拡大に努めることができた。

そこで、本年度はより地域の宝のストーリーを引き出し、地域の宝を求める人たちを「宝のもとに連れていく」ことができるような事業展開を目指し、そうした場のデザイナーとして、事業自主を目指したい。

## ①体験

地域の宝(人・コト・モノ)を知る体験(生産者や実践者等とのワークショップ)

## ②場のデザイン

- ・地域の宝(生産者や実践者等)のストーリーの発信
- ・地域の宝(生産者や実践者等)を招いたコミュニティサロン(交流の場)の運営
- ・そこに行けばだれかに会える地域の人が繋がるプラットフォームの構築

①、②ともに、地域の価値(人を含む)を知り、人の想いが育てられる場所、その想いに共感し、応援し、刺激しあう、人づくり、場づくりを行う。可能性や価値を創造し、未来につなげる対話型の事業とする。地域の人と人がゆるやかに繋がる場のデザインを行う。

## ◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

## 【目的】

この地域に住んでいることに誇りと喜びを持ち、「出会えてよかった」を紡ぎあえるような地域社会、地域財産(人・コト・モノ)の価値向上及び活性化に寄与することを目的とする。

## 【地域課題とその解決に必要な行動】

この地域には、このままでは失われてしまうかもしれない、埋もれてしまっている、まだまだ知られていない価値(人・コト・モノ)が存在する。見過ごしてしまいがちなその地域財産を人の想いや温度が感じられる物語として発信し、体験サービスやモノの販売に繋げる。作り手(生産者や実践者等)の苦手としている部分(商品開発・販売等)を、共に行う(体験や場)ことで、規模は小さくとも、心の通い合える丁寧な信頼関係の築ける地域商社として、6次産業化に繋げ、循環させていくことで持続可能な事業を展開していく。課題を解決しながら、出会えてよかったを紡ぎ、三方よし(売り手・買い手・世間)から六方よし(作り手・売り手・買い手・未来・世間・地球)の事業に結びつける。誰から買うか、人の温度を感じるか、共感・信頼が強い時代になると思っている。

## 【実行】

『出会えてよかったを紡いで 暮らしによるこびを まちにわくわくを』をミッションに掲げ、これからの時代に合わせ、人と心を通わせながら創造し、地域の宝を価値として見出す「地域のプラットフォーム」をオンラインおよびリアルで作っていく。

地域に存在する「人・コト・モノ」のストーリーを大切に、そこから「時（とき）」を作り出し、人と人の掛け算から起きる地域の可能性・価値を再編集し、未来に繋げる行動と発信をしていく。点と点を繋ぎ、線を作る。線を太くして地域の輪を作っていくことを目指す。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。上記目的を実現するために、①②を年間通じて、6回程度行う。</p> <p>①体験 地域の宝（人・コト・モノ）を知る体験（生産者や実践者等とのワークショップ）</p> <p>地域の宝のストーリーを引き出し、地域の宝を求める人たちを「宝のもとに連れていく」。生産者や実践者と丁寧に関係を紡いで事業を組み立てるひととき百貨店でしかできない体験を提供する。 当事業を通じて、作り手の想い、守り受け継がれてきた歴史などを体験を通じて学び知ること、沼津への郷土愛や誇りを育てる。また、生産者等と対話を重ねることで可能性や価値を未来につなげるきっかけをつくる。</p> <p>前年度実施し、事業化できそうな取り組みの継続および新規の体験 ※どの事業も地域の宝（人・コト・モノ）のコラボした取り組みとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新仲見世商店街シェアキッチンPASOの活用</li> <li>・地域産物の収穫体験や、収穫物を使ったワークショップ</li> <li>・新たなご縁による「地域の宝に会い行く」新規の体験</li> </ul> <p>②場のデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の宝（生産者や実践者等）のストーリーの発信（オンライン含）</li> <li>・地域の宝（生産者や実践者等）を招いたコミュニティサロン（交流の場）の運営</li> </ul> <p>これらを通して、「地域の宝になりうるコンテンツを持つ人と、地域の宝を求める人が交流する場」（コミュニティサロン）を運営し、そこに行けばだれかに会える、地域の人が繋がるプラットフォーム拠点を構築する。 昨年度の実施では、この場での出会いがあらたなコンテンツを生むこととなった。②から①へ、そしてまた①から②へ、というような相互に作用する好循環の輪を広げて行きたい。</p> <p>【人員配置】各回、全体責任者およびオーガナイザーを配置。また、地域の宝となる人やモノのストーリーを正確に伝えるためにライターやカメラマンの手配も行う。</p> <p>【対象】地域の価値（人・コト・モノ）に興味のある人 【会場】 シェアスペース yadorigi (沼津市本郷町 13-16) 新仲見世商店街シェアキッチンPASO・地域の宝の拠点 【企画運営】実施までにミーティング・告知・資料作成・準備等を行う。 【広報計画】Instagramを中心に、広報人材を取り入れ情報発信に取り組む。 【事業期間】2023年8月～2024年3月まで全6回程度</p>

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

地域に存在する「人・コト・モノ」のストーリーを大切に、そこから「トキ」を作り出す事業を実施。人と人の掛け算が起きるきっかけや、地域の可能性・価値を創造し、未来に繋げる行動と発信につながる効果が予想される。

様々な人を巻き込み、巻き込まれ、人の想いが育てられる場所、その想いに共感し、応援し、刺激し合う、人づくり・場づくりは、先を見据えた市民主体のまちづくりに大きな効果が期待される。事業を通じ、この地域に住んでいることに誇りと喜びを持ち、出会えてよかったを紡ぎあえるような地域社会、地域財産（人・コト・モノ）の価値向上及び活性化に寄与できると考える。

地域の可能性や価値を未来につなげる対話の場を作り、地域の人繋がるプラットフォームとなる事業を目指していく

<p>成果指標</p>	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 Instagram フォロワー数 (2022 年度フォロワー数 2024 人・2023 年度目標: 1000 フォロワーの増加) 新たな事業の創出</p>	<p>指標の 検証方法</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。 Instagram アカウントの確認</p>
-------------	---	---------------------	---

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 私自身が商店街の若手経営者「おまち彩生研究会」との出会いから、多くの刺激を受け、商店街が廃れていくと聞いても関心すらなかった主婦が、自分事として、地域について考えるようになった。この地域には、やりたいこと、学びたい気持ち、コミュニティに入りたい気持ち等があるものの、人の繋がりが作れないことを課題にしている人が多いと、今まで、場の運営をしてきたことから体感している。 「楽しそう！」からはじまる地域の宝（人・コト・モノ）を学び知る当事業は、それぞれバックグラウンドが違って、場を求める人の興味、関心を引く事業であり、参加することで地域のこと、やりたいことについて対話をするきっかけを作ることができる。当事業のコンテンツを楽しみながら、人と関わることで次に繋がる信頼関係と可能性を創出していく。 当事業により、沼津の新たな魅力・価値（人・コト・モノ）を発見・再認識し、この地域に住んでいることに誇りと喜びを感じることができる。 地域と繋がる場を求めている「孤」や「個」を、当事業を通じて繋げ、「線や輪」にしていくプラットフォーム的な取り組みは、今、正に求められていると考えられる。小さなことからでも地域の人々が主体的に行動を起こせるエネルギーやモチベーションは「一人じゃない」ということ。それを実感できる場が地域に必要である。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の現状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 アフターコロナにおいて「地域の魅力や価値（人・コト・モノ）の再発見と再認識」、「新たな魅力の創出」をしていくことが、地域が生き残っていくにあたり重要だと考えられる。 沼津には、沼津を愛し主体的に動く団体や個人が多数存在するため、当事業が志向する対話型の場の提供は、地域資源の活用に大変効果的だと考える。単に人と人を繋げることにとどまらず、体験や対話をきっかけに、人と人との掛け算が積極的に起こりやすいような場を作り、そこから起きる地域の可能性・価値を未来に繋げる事業とする。 この地域には、このままでは失われてしまうかもしれない、埋もれてしまっている、まだまだ知られていない価値（人・コト・モノ）が存在する。見過ごしてしまいがちなその地域財産を人の想いや温度が感じられる物語として発信し、体験サービスやモノの販売に繋げる。作り手（生産者や実践者等）の苦手としている部分（商品開発・販売等）を信頼関係を重ねながら、共に行う（体験や場）ことで、規模は小さくとも6次産業化に繋げ、課題を解決しながら、出会えてよかったを紡ぎ、三方よし（売り手・買い手・世間）から六方よし（作り手・売り手・買い手・未来・</p>

	<p>世間・地球)の事業に結びつける。誰から買うか、人の温度を感じるか、共感・信頼が強い時代になると思っている。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>沼津に想いをもち活動する個人や団体は多々あるが、特にボランティア性の強い地域活動(支援活動)になるほど、その活動を継続し、地元に着定する活動にまで金銭的にも成長、安定することは難しいというのが実情である。</p> <p>「地域のヒト・コト・モノ・トキを知ることができるプラットフォーム」「心の繋がった体験・場を味わえる」といえば、「ひととき百貨店」と地域に認識してもらえる代表的存在、そして、地域活動の成功事例になることを目標とし、当事業を実施していく。</p> <p>当事業は2020年度の沼津市民間支援まちづくりファンド(行動が連鎖を生むネットワーク事業)をきっかけに誕生し、その後自走に向けて取り組んでいる事業である。熱意を持つメンバーがそれぞれの経験やバックグラウンドを最大限に生かし、単に繋がる場を提供するだけでなく、そこから未来につながる、新たな行動が生まれるよう、より積極的に働きかける新しい取り組みである。多様な協働事業の創出と定着を目指していく。</p>
発展性・継続性	<p>※発展性:活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性:本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>事業概要で示した①②を、定期的開催することで、多くの繋がるの場を創り、その後に発展する可能性を創出する。</p> <p>大きな事業を1回開催するより、小さな事業を複数回開催するほうが、運営するメンバーが疲弊せずに事業を継続でき、かつ参加者や関わる人の満足度も高くできる。複数回開催することは、1つ1つ実施のたびに経験を重ね、軌道修正することが可能であり、事業としての発展性につながる。また、疲弊せず、軌道修正を重ねながら成長し、形を見つけた事業が定着することは、継続性にも繋がる。当事業ではそれを見つけていく行動の場にさせていただく。3年目を迎え、それを深く実感している。</p> <p>事業終了がゴールではなく、未来につながる事業を目指し、運営メンバー以外の人も巻きこみながら、主体性を育て、行動が起きやすい事業に育てていく。</p> <p>資金面の継続性については、運営メンバーそれぞれの信頼関係や実績から、事業への協賛を募ること(事業に可能性を感じてくれた沼津信用金庫様・沼津商工会議所様の年間協賛をすでに獲得)、また、投資してでも参加したいと思える不可価値のある事業内容へ当事業を実施しながら構築をしていくことを考えている。</p> <p>なお過去2年の実施を経て、①の可能性、②の発展性を確認でき始めており、これを今年度循環させていくことで、継続的な発展を目指すことのできる事業になると考えている。</p>
実現性・妥当性	<p>※実現性:事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性:各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>事業目的を達成するために必須となる、「想いに共感し、応援し、刺激しあう関係性」を構築するため、当事業が提供する場は必要である。事業目的と事業内容は合致している。</p> <p>当事業のファーストステップは、既にある関係性を整理し、繋ぎ、深掘りする形で行う。また、様々な分野で活躍する熱意を持つメンバーが、それぞれの経験やネットワーク(人脈)、バックグラウンドを最大限に生かす形で実施する。このことにより、効率的に事業を進めることができる。実現のための協力体制が整っている。</p> <p>小さく実施して疲弊することなく継続していくことが、更なる発展につながることを、これまでの実施を通して実感できてきているため、今年度は事業間を循環させることに挑戦し、更なる実現性を担保していく。</p>

<p>活動に対する熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>当事業の目的【地域に存在する「人・コト・モノ」のストーリーを大切に、そこから「トキ」を作り出し、出会えてよかったを紡ぐような人と人の掛け算から起きる地域の可能性・価値を見つけ、未来に繋げる行動と発信をしていく】は、事業ミッションである「出会えてよかったを紡いで暮らしによるこびを まちにわくわくを」の達成に大きくかかわる事業であり、実施する私たち自身がわくわくしています。</p> <p>笑顔の未来につながる市民主体のまちづくりは、沼津の魅力・価値（人・コト・モノ）を発見・創出が大きく関わってくると思われるため、その基盤づくりに事業の申請をさせていただきました。確実にファンがついてくれています。</p> <p>私たちとともに、地域の皆さんが、わくわくと主体的にまちづくりに関わり、巻き込み、巻き込まれ、人の想いが育てられる場所として「ひととき百貨店」は存在したいと思っています。</p> <p>地域の皆様が、まちに誇りと喜びを持ち、出会えてよかったを紡ぎあえるような沼津のまちになるためのお手伝い、人と人の繋がりを作るデザイナーとして寄与できたらうれしいです。</p>
-----------------	---

### ◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <p>現在、ひととき百貨店では、オンライン上のEC機能を備えたサイト（仮想百貨店）をオープンさせる計画（自主事業）を進めております。この店のファンを増やしていくためには、信頼と実績を重ねていくことが大切であると考えます。</p> <p>団体の基盤を作るうえで、実績がない団体にとって、ファンドによるご支援はとても心強いものです。信頼と実績に大きく関わるのは、「誠実であること」「続けていること」です。</p> <p>今後もファンドにより実践できた3年間をベースに、軌道修正を重ねながら継続していきたくと考えており、1つ1つの事業を収益事業にしていきながらも、当団体の活動が沼津にとってよいものだと思ってもらえるように、頑張っていきたいと思えます。</p>
--

### ◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

<p>※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。</p> <p>初年度は、地域の宝を見出すような体験に価値を感じる方がたくさんいらっしゃることを実感できた。2年目は、地域の宝となりうるようなコンテンツを持つ人と、地域の宝を求める人を引き合わせるような場をつくりだすことが出来た。</p> <p>そこで、本年度はより地域の宝のストーリーを引き出し、地域の宝を求める人たちを「宝のもとに連れていく」ことができるような事業展開を目指し、そうした場のデザイナーとして、事業自走を目指していくこととしたい。</p> <p>コミュニティの場からコンテンツが生まれ、また、コンテンツがコミュニティの場となっていく。新しい地域の宝と地域の宝を求める人の関係性が相互に作用して循環し、その輪が広がっていくような事業展開を目指し、自走していきたい。</p>
---

### ◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

<p>※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。</p>
---